



## 60周年の歩み

1966年 2013年 2016年 2017年 2025年 2026年

### 現在の天守閣が完成

完成した天守閣の敷地に  
名前を刻み入れる金工道徳市長(当時)



天守台石垣大修理



唐津城天守閣プロジェクト記念  
唐津城天守閣プロジェクト



展示改修リニューアルオープン



唐津城入場者数  
777,777,777人突破



### 知っていますか？

## 唐津城の豆知識

1

現在の天守閣は「昭和生まれ」



天守閣建築前の唐津城天守台

唐津のシンボルとして親しまれる唐津城天守閣。実は、現在の天守閣は昭和41(1966)年に完成した模範天守です。江戸時代の天守台石垣の上に新たに築かれた天守閣が「もう一つの新たな歴史」を作ってきました。

2

唐津城天守閣の建築予算の  
議会審議は大混乱!!



天守閣の建築費は、当時の市の年間予算の1割を超える約1億5,000万円。予算案を審議する市議会には、200人を超える市民が傍聴に訪れ、大混乱に。大きな関心が寄せられました。

3

本能寺の変で細田信長を突いた  
といわれる安田作兵衛の槍



唐津城天守閣は、ただの観光スポットではありません。実は館内には、唐津藩の歴史を語る絵図や甲冑、刀剣に加え、本能寺の変で細田信長に一番槍をつけたと伝わる槍が、天守閣2階の刀剣コーナーに展示されています。

4

年間入場者数が15万人を突破!



令和7年度  
152,883人  
平成27年度除いて  
過去最高!

令和7年度の年間入場者数は、15万2,883人を記録しました。而して補強工事に伴い無料開放を行った平成27年度を除くと、過去最高の入場者数です。市民をはじめ、国内外から訪れる多くの皆さんに親しまれています。

# 唐津城天守閣 60周年

## これからも、唐津のシンボルとして

昭和41(1966)年に建築された唐津城天守閣は、今年で60周年を迎えます。唐津のまちと唐津湾を見守り続けてきた天守閣。その歴史と、思わず誰かに話したくなる豆知識を紹介します。

📺 観光課 ☎ 72-9127

### 唐津城天守閣 60周年イベント

#### 還暦祝祭を開催します!

還暦のお祝いと長寿への願いを込めた赤いスカイランタンが、唐津城の夜空を彩ります。

📅 日 時 10/31日(土) 17:00~19:00

📍 場 所 唐津城天守閣前 上段広場

🎫 参加費 スカイランタン付きプラン 4,300円/人  
(スカイランタン1個+60周年記念唐城印)

※イベントの入場・観覧は無料

📝 申込 イベントフォームで申し込み(先着順)

安全なイベント運営のため、入場を制限することがあります。

▲申込フォーム



### 打上花火

スカイランタンと一緒に  
打上花火で夜空を彩ります。

18:15~[予定] ランタンに合わせ

### 10/28[水]は市民無料デー!

唐津城天守閣60周年を記念し、市民無料デーを開催します!  
ぜひ唐津城へ来場ください。

📅 日 付 10/28(水)

👤 対象者 唐津市民限定

📝 申込 不要

◆還暦の人数限定で、先着20人を無料招待! 詳しくは、申込フォームを確認してください。

📞 唐津城60周年記念事業事務局 ☎ 72-5697



## 唐津城築城の「新説」

# 旧石垣と金箔瓦の発見！

平成20年度から令和5年度まで、16年間にわたって実施された唐津城石垣再築整備事業。唐津城跡本丸の石垣を解体修理する中で、地中に埋もれていた古い石垣（旧石垣）や金箔瓦が見つかりました。これらの発見により、これまで知られていた唐津城築城年代や、肥前名護屋城との関係を見直す重要な手がかりとなっています。

☎ 生涯学習文化財課 ☎ 72-9171



石垣解体修理時の唐津城跡天守台

## 江戸時代の絵図には書かれていない旧石垣の発見



地中に埋没した旧石垣



旧石垣の裏から出土した金箔瓦

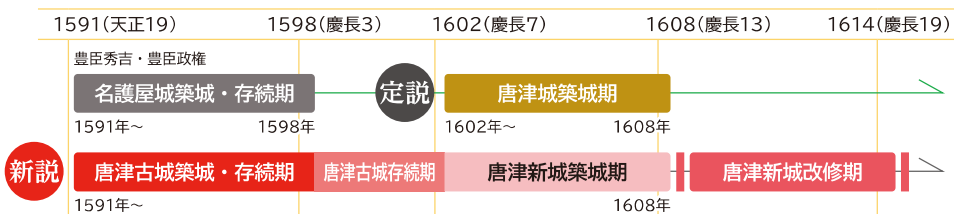


天守台の周辺では、地中深くに埋没した旧石垣を発見しました。旧石垣は、自然石のみを用いた緩い勾配の石垣で、割石のみを用いた急勾配の天守台石垣よりも、古い要素が見られます。埋没した旧石垣の裏からは、豊臣秀吉とその家臣の城にしか使用が認められていなかった金箔瓦が出土しており、豊臣政権や肥前名護屋城との深い関係が想定されます。

豊臣秀吉とその家臣の城にしか使用が認められていなかった金箔瓦

このほかにも、長年にわたる文化財調査により、石垣や軒瓦の変遷が把握されるようになり、唐津城築城の頃の具体的な様子が明らかになりました。埋没した旧石垣からなる古段階の曲輪群を「唐津古城」、現在も残る唐津城の姿を「唐津新城」とすると、唐津新城はこれまで知られていた定説にあたる慶長7～13（1602～1608）年に築城されたと考えられます。唐津古城はこれより前にすでに存在しており、その築城時期は肥前名護屋城築城・存続期となる天正19（1591）年～慶長3（1598）年と考えられます。これにより、定説とされてきた唐津城築城期よりも十数年前に、豊臣政権により唐津古城が築かれていたこととなります。新たな知見となる「新説」により、これまで誰も知らなかった具体的な唐津城築城の歴史が明らかになりました。

## 定説と新説の年代の流れ



## 見て、学べるパネル展！

### 唐津城天守閣2階展示場

パネル展「新説 唐津城築城」で、旧石垣や金箔瓦、唐津古城や新説の内容を分かりやすく紹介しています。60周年のこの機会に、ぜひ唐津城天守閣へお越しください。



## 唐津城館長に聞きました

## これからの唐津城 市民が気軽に遊びに来られる城へ

唐津城では、階段を上って体操をする人や、犬の散歩を楽しむ人の姿が日常的に見られます。「唐津城を観光客だけの場所ではなく、市民の皆さんが気軽に立ち寄り、思い思いに過ごせる憩いの場にしていきたいです。毎年開催している絵画・俳句コンクールに加え、今後はより多くの方が参加しやすいイベントにも取り組んでいきたいです」と、館長はこれからの唐津城への思いを語ってくれました。



天守閣からの展望  
別名「舞鶴城」と言われている